



2020年5月20日

各 位

会社名 JXTGホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉森 務
コード番号 5020 東証・名証第1部
問合せ先 財務IR部IRグループマネージャー
井上 亮
(電話番号 03-6257-7075)

JXTGグループ「第2次中期経営計画（2020-2022年度）」の策定について

当社（社長：杉森 務）は、このほど「第2次中期経営計画（2020-2022年度）」（以下「本中計」）を策定しましたので、お知らせいたします。

当社は、本中計を、昨年公表しました「2040年JXTGグループ長期ビジョン」の実現に向けた変革の推進と位置づけ、各事業ポートフォリオにおける「構造改革の加速」および「成長事業の育成・強化」をテーマに策定いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症が本中計に及ぼす影響については、合理的に算定することが困難なことから、石油製品等における一定の需要減を2020年度上期まで織り込んだ計画としております。今後は、世界経済の動向、国内における緊急事態宣言の解除や経済活動の再開による需要の回復状況に応じて、その時点の業績見通しや本中計への影響について情報開示してまいります。

JXTGグループは、長期ビジョンに掲げるありたい姿を実現するため、引き続き、グループ一丸となって本中計に取り組んでまいります。

記

（1）基本方針

ア. 「長期ビジョン実現に向けた事業戦略とキャッシュフローを重視した経営の両立」

「基盤事業の競争力強化による継続的なキャッシュ創出」と、それを基礎とした「成長事業の育成・強化のための選択投資および事業ポートフォリオ最適化の追求」を推進し、「財務基盤の健全性維持とキャッシュフローの適正な配分」を実行いたします。

イ. 「経営基盤の強化」

グループ運営体制の変更により迅速化した業務執行体制と、取締役会によるモニタリングの強化の両立を図り、ガバナンスの実効性を強化します。また、システム基盤の強化や人材の育成・確保のための施策を実行していきます。さらに、変革の実行にあたり、従業員や顧客はもちろんのこと、株主などあらゆるステークホルダーとの建設的な対話を推進してまいります。

(2) 経営指標

- ア. 営業利益（在庫影響除き） : 9,700億円（2020-2022年度累計）
イ. フリーキャッシュフロー : 1,500億円（2020-2022年度累計）
ウ. ネットD/Eレシオ : 0.8倍以下（資本合計ベース）
エ. ROE : 10%以上

（参考）前提条件

	2020年度	2021年度	2022年度
為替（円/\$）	105	105	105
ドバイ（\$/B）	30	60	60
銅貨（円/lb）	250	270	270

- (3) 設備投資額 : 15,000億円（2020-2022年度累計）

(4) 株主還元方針

ア. 資本政策の考え方

- ・資源価格変動等の事業リスクに対する備え、および持続的な成長投資に向けた資金調達のため、必要十分な財務健全性および手元流動性を確保する。
- ・上記を前提とし、一定の借り入れを活用し、最適な資本構成および資本コストを目指す。

イ. 還元方針

- ・株主への利益還元が経営上の重要課題であるとの認識のもと、中期的な連結業績の推移および見通しを反映した利益還元の実施を基本としながら、安定的な配当の継続に努める。

ウ. 本中計期間中の還元の考え方

[配当] 現状を下回らない配当水準とする

[総還元性向] 3カ年累計 在庫影響除き当期利益の50%以上

以上

添付資料：JXTGグループ第2次中期経営計画（2020-2022年度）

<https://www.hd.jxtg-group.co.jp/company/system/plan.html>